

トムス
ハイパー
コンプレッサーキット
ランドクルーザー100 (UZJ100) 用
13600-TUJ10

取り付け / 取り扱い説明書

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください
- ◆ 販売店殿 本商品お渡しの際、保証書およびユーザー登録ハガキに販売店印の押印、装着時走行距離および購入日を記入してください。押印および記入がない場合は保証対象外となりますのでよろしくお願ひします
- ◆ ユーザー登録ハガキは必ずご返送ください。ご返送ない場合は保証対象外となる場合があります

目次

【1】	ご確認ください	2
【2】	事前に準備いただくもの	2
【3】	はじめに	3
【4】	適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(H17年12月現在)	3
【5】	ご使用時の注意事項	3
【6】	エンジンECUについて	3
【7】	保証について	4
【8】	構成部品表	5
【9】	構成部品図	6
【10】	取り付け	7

【1】 ご確認ください

以下の梱包箱があるかどうかご確認ください。

UZJ100ランドクルーザー100ハイパーコンプレッサーキット

● コンプレッサー本体	箱ラベル品番	13600-TUJ10(1/2)	1箱
● 部品		13600-TUJ10(2/2)	1箱

【2】 事前に準備いただくもの

作業を開始する前に以下のものを事前に準備してください。

注文は全国のトヨタ部品共販となります。

部品(トヨタ純正)

ウォーターバイパスジョイント	16355-50070	1個
ウォーターバイパスジョイントガスケット	16341-50020	2個
インターマニホールドツェーヘッドガスケット	17171-50020	2個
パルセーションダンパーホースガスケット	90430-12026	5個
フエルポンプホースガスケット	23232-41081	1個
スロットルボディガスケット	22271-50042	1個
インジェクターOリング	90301-07024	8個
インジェクターグロメット	90480-13005	8個
インジェクターインシュレーター	23291-41010	8個
ウォーターインレットOリング	96761-35035	1個

【3】はじめに

このたびは、トムスハイパーコンプレッサーキット（ランドクルーザー-UZJ100用）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

【4】適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。（H17年12月現在）

トヨタランドクルーザー100/シグナス（V8エンジン車） UZJ100（H14年8月～）
H10年2月～H14年7月までの車両には装着できません

【5】ご使用時の注意事項

以下の注意事項を守らない場合、エンジンの破損に伴う事故となる場合がありますので十分ご注意ください

- 1, 本製品を装着すると、エンジンの燃焼効率が改善され、エンジンの性能が向上いたします。ブレーキの性能を確認し、十分な制動力を確保して走行してください。またエンジンの過回転（回転計の「レッドゾーン」以上の使用）はエンジン破損につながります
- 2, 純正マフラー、およびトムスパレルVer, 1（17400-TUJ10）を使用する場合、高負荷走行直後に排気系全般が高温となるため、車両の下に枯れ草等燃えやすいものがないことを十分確認してください。トムスパレルVer, 2（17400-TUJ11）のご使用を推奨します。
- 3, 装着後、エンジンチェックランプが点灯したり、エンジンに著しい異常（振動、異音、黒煙の排出等）を感じた場合はただちに使用を中止し販売店等に連絡してください
- 4, 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやベルトの干渉、ガソリン、冷却水の漏れ等をチェックしてください。
- 5, **ガソリンは必ず「無鉛ハイオク」をご使用ください。レギュラーガソリンや粗悪ガソリンを使用するとノッキングをおこしエンジンが破損する場合があります。**
- 6, エンジンオイル・オートマチックトランスミッションオイルは通常よりこまめに交換してください
推奨交換時期 エンジンオイル5000KmごとATFオイル20,000Kmごと
- 7, Vベルトは亀裂、ゆるみ、部品との干渉などをこまめに点検してください。

【6】エンジンECUについて

1. 車両に装着されている純正ECUに下記の送付用紙をコピー添付して弊社に発送してください。その際、純正ECUに装着されている**取り付けブラケットを必ず外し**お客様にて管理してください。
2. 純正ECUをTECに変更の際、弊社に純正ECU到着後、2週間程度車両が動かせなくなる旨、ご了承下さい。（送付先ページ参照）
3. お客様より弊社に送付される際の運賃はお客様にてご負担ください。

送付先 〒158-0082 東京都世田谷区等々力6-13-10 ㈱トムス 営業部宛
TEL03-3704-6191 / FAX03-3704-9486

TOM'S T.E.C. 送付用紙 for HYPER COMPRESSOR KIT			
お客様お名前		TEL	直送先 (印必ず記入)
住所(お客様用)			
ご担当販売店名 ご担当者		TEL FAX	
住所			
共販・代理店 ご担当者		TEL FAX	
住所			

【 7 】 保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理(保証修理)いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います(製品の返品等はお受けいたしません)。また、取り外した不具合部品は(株)トムスの所有となります。

[1] 保証期間

➤ 保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後 1 年間。但し期間内であっても装着後走行距離 2 0 . 0 0 0 Km まで

[2] 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として不具合部位を取り外し、(株)トムス宛ご返却いただき、調査後トムスにて現品を修理もしくは交換しご返却いたします。

[3] 保証をしない事項

➤ 上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

- 1, 本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 2, 保証書の提示がない場合
- 3, 使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合
- 4, 登録後 4 年を経過した車両または走行距離が 5 0 0 0 0 Km 超えるエンジンに装着した場合
- 5, 輸送中の不具合
- 6, レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合
- 7, 指定のガソリン(無鉛ハイオク)以外のガソリンおよび粗悪ガソリン等の使用による不具合
- 8, エンジンオイル・ATFオイルのメンテナンス不良に起因する不具合
(推奨メンテナンス; エンジンオイル 5 , 0 0 0 Km ごと、ATF オイル 2 0 , 0 0 0 Km ごと交換)
- 9, 地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの
- 1 0, 消耗品(Vベルト、ゴムホース類、ガスケット等)の破損・不具合
- 1 1, 本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合(例、規定以上にブーストを上げた場合など)、また、純正およびトムス指定以外の吸排気系部品や電子部品の装着によるもの
- 1 2, 取り付け作業時や分解時のまちがい、不備
- 1 3, 機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象
 - 1) コンプレッサーの過給音等(過給時キーン音、クラッチ断続時のカチャ音など)
 - 2) 機能上差し支えないオイルにじみ
 - 3) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

[4] 保証対象外費用

➤ 以下に示すものの費用は負担いたしません

- 1, 自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等(電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等)
- 2, 脱着工賃

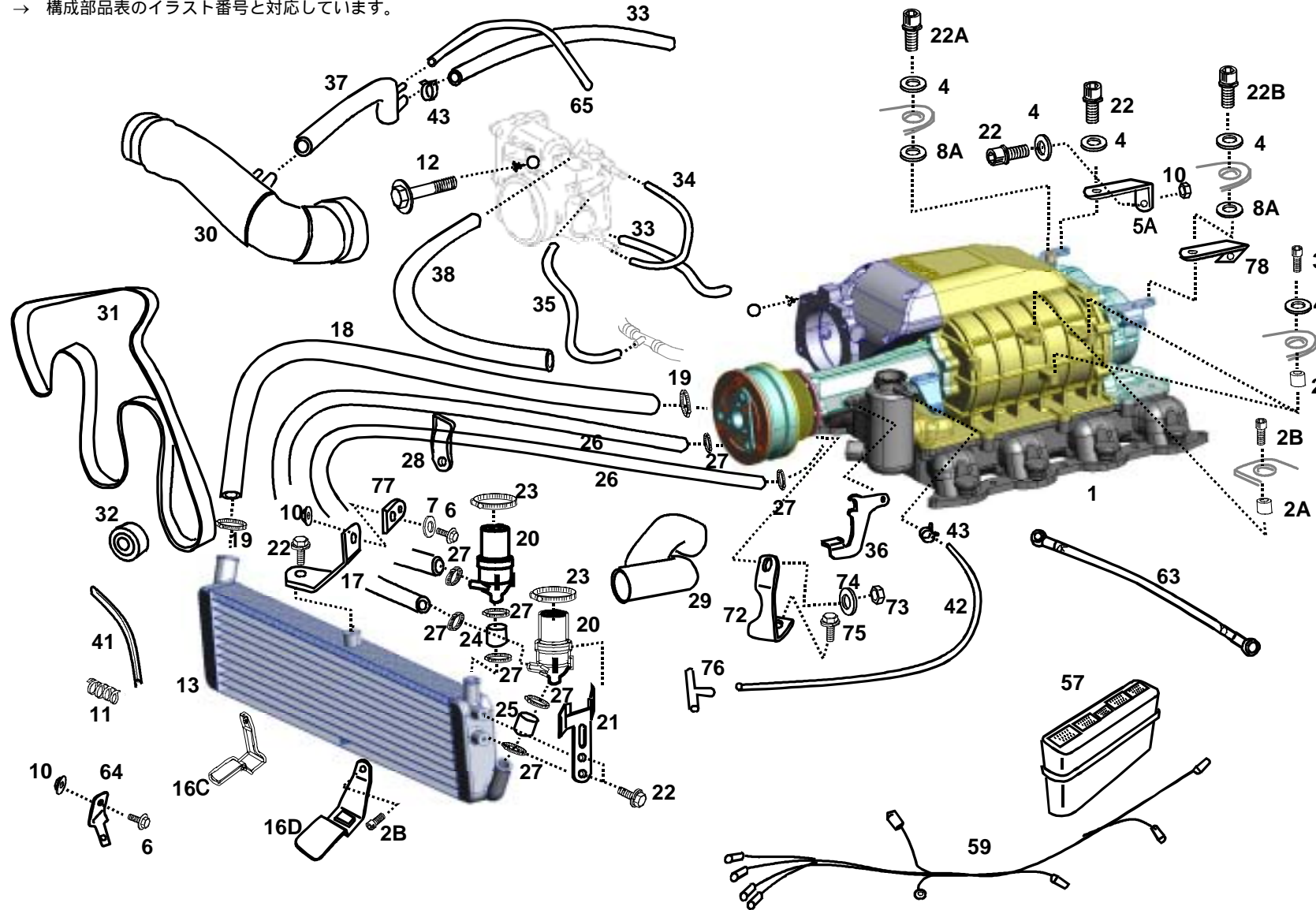
【 8 】 構成部品表

➤ 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい

イラスト	品名	部品品番	個数	バック番号	仕様	備考
1	コンプレッサ-ASSY	13610-T3UZ0	1			
2	カラー 6	13731-T3UZ0	2	1		
2A	カラー 8	13734-T3UZ0	1	2		
2B	キャップボルトM8×20	13735-T3UZ0	2	3		
3	キャップボルトM6×25	13732-T3UZ0	2	4		
4	ワッシャー-M6	13733-T3UZ0	6	4		
5A	フェルパイフブラケットA	13750-T2UZ0	1	5		
6	六角ボルト M6X1.0	13745-T3UZ0	2	6		
7	ワッシャー-M6	13733-T3UZ0	1	6		
8A	スベ-サー	13744-T2UZ0	2	7		
10	ロックナット M6X1.0	13747-T3UZ0	3	7		
11	インシュレータ	13801-T3UZ0	1			
12	スロットルボディ用ボルト&ワッシャ	13694-T3UZ0	1	8		
13	インタークーラーラジエターASSY	16510-T3UZ0	1			
16C	インタークーラーラジエターロアステー	16517-TUJ10	1			
16D	インタークーラーラジエターロアステー	16518-TUJ10	1			
17	インタークーラーラジエターステー	16512-TUJ10	1			
18	インタークーラーアウトレットホース	16554-T3UZ0	1			
19	アウトレットホースバンド	16572-T3UZ0	2		90467-31003	トヨタ純正
20	ウォーターポンプ	16290-T3UZ0	2			
21	ウォーターポンプステー	16291-T3UZ0	1			
22	キャップボルトM6×15(SPワッシャー)	16293-T3UZ0	5	9		
22A	キャップボルトM6×20(SPワッシャー)	16294-T3UZ0	1	10		
22B	キャップボルトM6×25(SPワッシャー)	16295-T3UZ0	1	11		
23	ウォーターポンプクランプバンド	16292-T3UZ0	2		44-56mm	
24	ポンプトラジエターホースNo.1	16551-T3UZ0	1		16×50mm	
25	ポンプトラジエターホースNo.2	16552-T3UZ0	1		16×115mm	
26	インタークーラーインレットホース	16553-TUJ10	2		内径 16 L=1830mm	
27	インレットホースバンド	16573-T3UZ0	8		90467-24002	トヨタ純正
28	インタークーラーホースガイド	16554-T3UZ0	1			
29	ラジエターアッパーホース	16571-T3UZ0	1			
30	エアインレットホース	17875-T2UZ0	1			
31	Vリブドベルト	16361-T3UZ0	1			
32	アイドルブリー	16604-T3UZ0	1		13503-63011	トヨタ純正
33	ウォーターバイパスホースNo.1	16261-T3UZ0	2		内径 8mm L=250mm	
34	ウォーターバイパスホースNo.2	16262-T3UZ0	1		内径 8mm L=320mm	
35	ウォーターバイパスホースNo.3	16263-T3UZ0	1		内径 8mm L=380mm	
36	ウォーターバイパスホースガイド	16555-T3UZ0	1			
37	ブローバイホースRH	12261-T2UZ0	1		成型ホース	
38	ブローバイホースLH	12262-T3UZ0	1		内径 10×500mm	
41	プロテクターモ-ル	16519-T3UZ0	1			
42	リザーブタンクホース	16556-T3UZ0	1		8×950	
43	リザーブタンクホースバンド	16557-T3UZ0	2		96135-41300	トヨタ純正
76	リザーブタンクホース3ウエイ	16558-T3UZ0	1			
65	バキュームホース	90999-T2UZ0	1		4×200	
57	エンジンECU(TEC)	89600-TUZ14-SC	1			
59	ハーネス	82216-TUJ10	1			
63	フェルラインNo.1	23801-T2UZ0	1			
64	アクターテンパレチャ-センサーブラケット	88790-TUJ10	1			
72	ノーズステー	13751-T3UZ0	1		ノーズステーバック	
73	ナット, ノーズステー	13752-T3UZ0	1			
74	ワッシャー, ノーズステー	13753-T3UZ0	1			
75	ボルト, ノーズステー	13754-T3UZ0	1			
77	カブラ-ブラケット	88122-TUJ10	1			
78	フェルパイフブラケットB	13884-TUJ10	1			
	取扱説明書(本書)		2		1部は保存用1部は取り付け用	
	Vリブドベルトラベル		1			

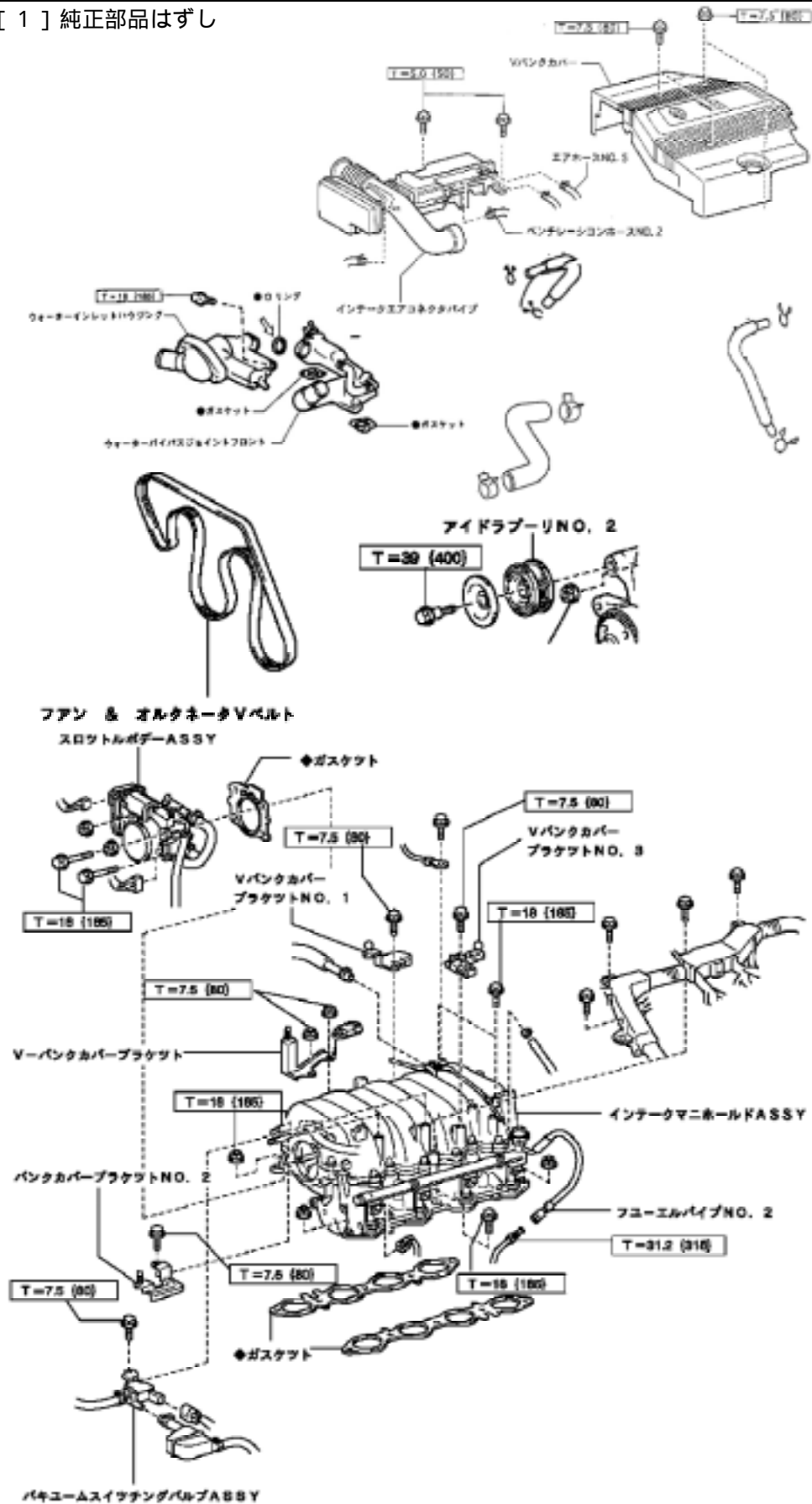
【 9 】 構成部品図

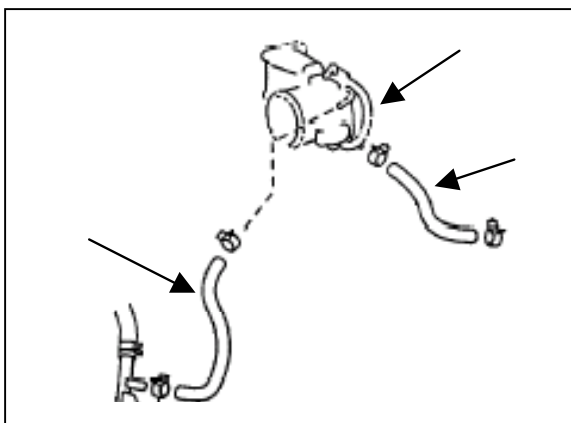
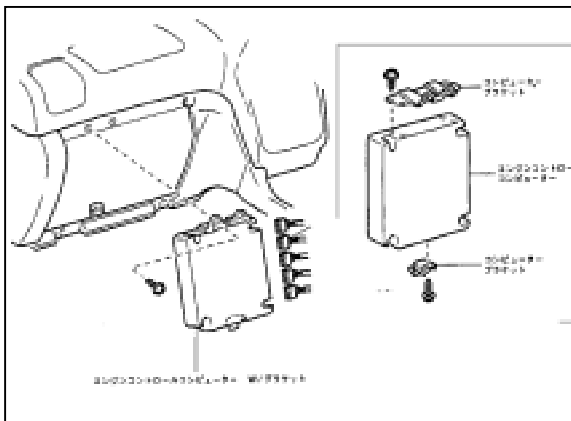
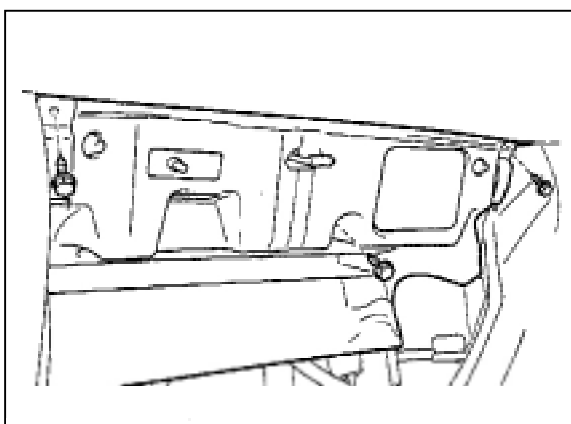
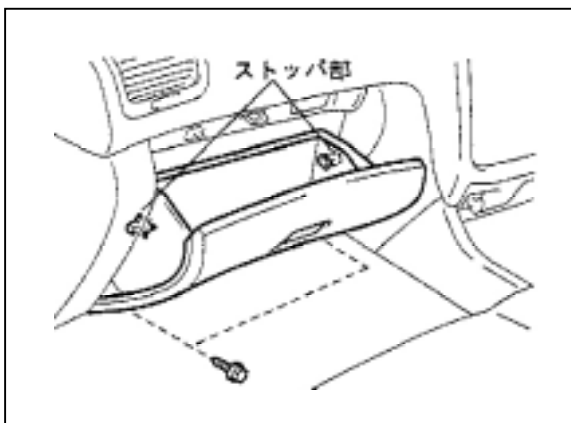
→ 構成部品表のイラスト番号と対応しています。



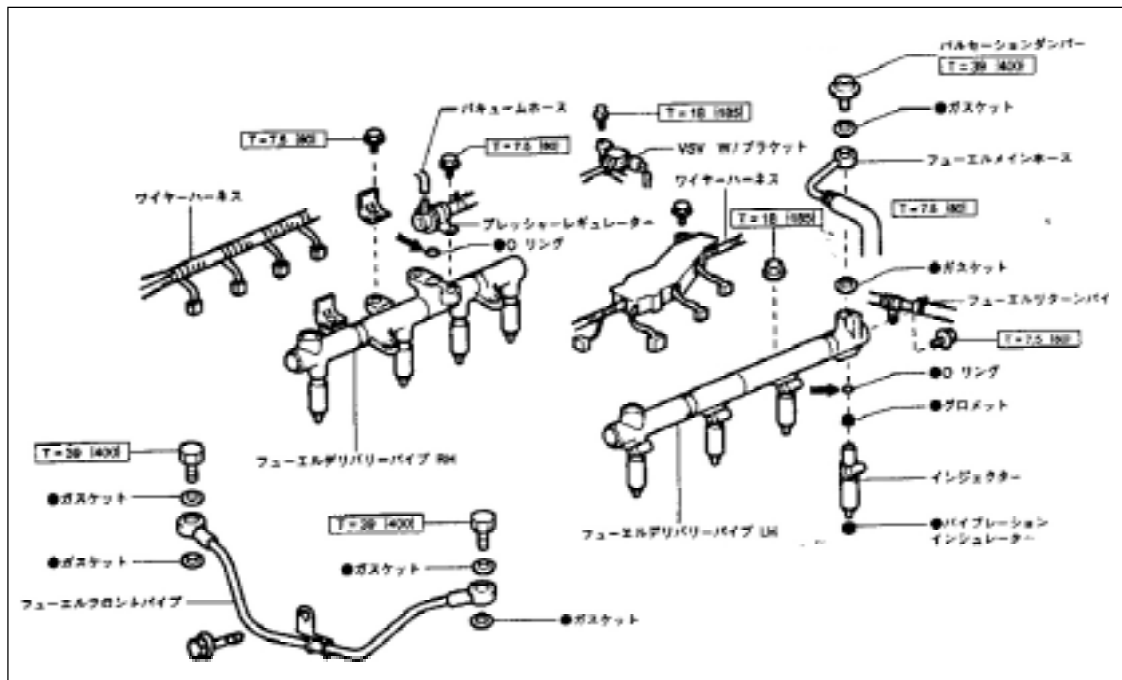
【10】 取り付け

[1] 純正部品はずし





- 1, エンジン ECU はずし
- 2, グラブコンパートメント (グローブボックス) ドア はずし
 - 1) スクリュー 2 個をはずし、ダンパーのストッパをはずす
 - 2) ドア上部を若干変形させてストッパ部を解除しドアをはずす
- 3, インパネフィニッシュパネル LWR L H はずし
 - 1) スクリュー 3 本をはずし、フィニッシュパネルをはずす
- 4, ECU はずし
 - 1) スクリュー 3 本をはずす
 - 2) コネクターをはずし、ECU をはずす
 - 3) スクリューをはずし、ブラケット 2 個をはずす
はずした ECU をトムス宛て送り、TEC 2 に変更する (返却までに 2 週間ほど必要です) 詳しくは [4] エンジン ECU について」を参照のこと
- 5, ラジエターグリル はずし
- 6, エンジンカバー・ブラケット はずし
- 7, エアインテークホース はずし
- 8, 冷却水抜き取り
- 9, ラジエターアップパーホース はずし
- 10, ウォーターバイパスジョイント はずし
 - 1) ウォーターインレットハウジングをはずす
 - 2) ボルトをはずし、ウォーターバイパスジョイント FR をはずす
- 11, パワーステアリングアイドルアップホース切り離し (エンジン側をきりはなす)
- 12, ブローパイプホース R / L はずし
- 13, キャニスターホース切り離し
 - 1) LH はエンジン側をきりはなす
 - 2) RH はホースおよびパイプをはずす
- 14, エンジンワイヤーハーネス はずらし
 - 1) インジェクターコネクターをはずす
 - 2) スロットルセンサーコネクターをはずす
 - 3) その他エンジンワイヤーハーネスを外側にずらすために必要なコネクターをはずす
 - 4) エンジンワイヤーハーネスクランプをはずし、ワイヤーハーネスをできる限りマニホールドからはなす
→ ひもなどで外側に寄せて固定しておくとい
- 15, スロットルボディウォーターバイパスホース 3 本 はずし
- 16, スロットルボディ ASSY はずし
 - 1) ナット 2 個およびボルト 2 本をはずし、スロットルボディをはずす



17, フエルライン切り離し

- 1) フエルタンクのキャップをはずし、フエルタンクの圧力を抜く
- 2) パルセーションダンパーをはずし、フエルホースを切り離す
- 3) プレッシャーレギュレーターからフエルリターンホースを切り離す
→リターンのホースとパイプははずしておく
⇒ **ガソリンの流出に十分注意する**

18, インテークマニホールドASSYをはずし

- 1) ボルト6本ナット4個をはずし、インテークマニホールドASSYをはずす

[2] インジェクター、デリバリパイプ付け替え

1, インジェクター、パイプをはずし

- 1) インテークマニホールドからデリバリパイプウイズプレッシャーレギュレーター、フエルフロントパイプ、デリバリパイプスペーサーおよびインジェクターをはずす
→インジェクターとパイプは一体ではずすとよい(はずれない場合は個別にはずす)
⇒ **はずす前にインジェクターが回転することを確認する**

2, インジェクター、パイプ取り付け

- 1) 純正デリバリパイプスペーサー4個をコンプレッサーのスタッドボルトに取り付ける
- 2) はずした手順と逆の手順で取り付ける
- 3) フエルフロントパイプは付属の(63)フエルラインNo, 1に交換する
⇒ **ガスケット、Oリング、グロメット、インシュレーターは新品に交換する**

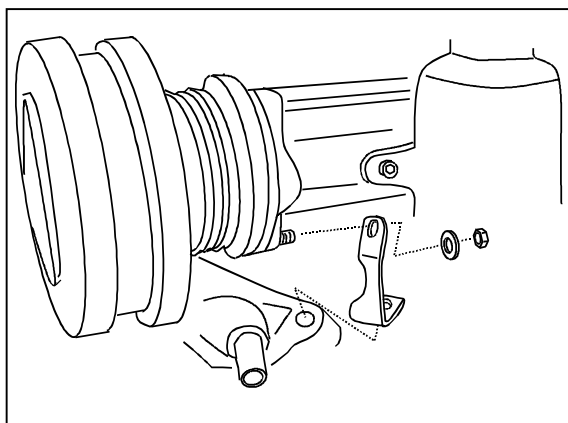
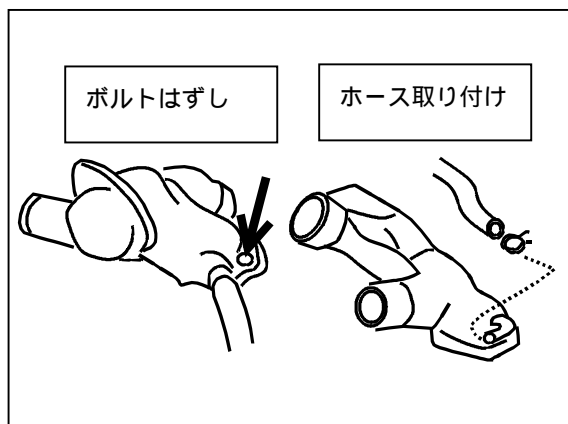
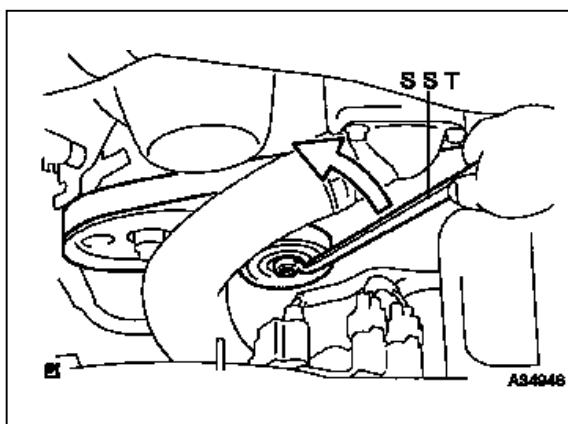
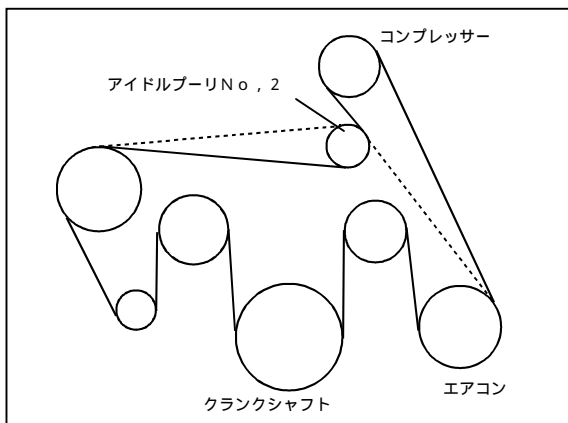
パルセーションダンパーホースガスケット	9 0 4 3 0 - 1 2 0 2 6	5 個
フエルポンプホースガスケット	2 3 2 3 2 - 4 1 0 8 1	1 個
スロットルボディガスケット	2 2 2 7 1 - 5 0 0 4 2	1 個
インジェクターOリング	9 0 3 0 1 - 0 7 0 2 4	8 個
インジェクターグロメット	9 0 4 8 0 - 1 3 0 0 5	8 個
インジェクターインシュレーター	2 3 2 9 1 - 4 1 0 1 0	8 個

⇒ フエルフロントパイプ(フエルラインNo, 1)ユニオン締め付けトルク **39N.m(400Kgf.cm)**

⇒ デリバリパイプナット締め付けトルク **18N.m(185Kgf.cm)**

⇒ インジェクターが回転することを確認する。滑らかに回転しない場合は、Oリングのかみ込みが考えられるため、インジェクターをはずして再度Oリングを新品に取り替えて作業を行う。

⇒ フエルラインNo, 1はコンプレッサーに接触しないように取り付け



[3] Vベルト取り付け

1, アイドラプーリー交換

- 1) アイドラプーリー No. 2 を(32)アイドルプーリーに交換する

⇒ **締付けトルク 39N.m(400Kgf.cm)**

→ プーリーカバー(ワッシャー)は使用しない。

ボルトは再使用する

2, Vベルト交換

- 1) Vベルトを交換する(左図の実線のように取り付ける)

→ テンショナーのプーリセットボルトにレンチをかけ、テンショナーを左に回転させて張力をゆるめ、ベルトをはずす。

⇒ **プーリセットボルトは左ねじを使用しているため右回転させるとプーリセットボルトがゆるむ(ベルトは仮に取り付ける)**

[4] コンプレッサー取り付け

装着前に保証書にコンプレッサー本体後面のシリアル番号(SER,NO 後の7桁数字)を記入してください(搭載後は見にくい)

1, ウォーターバイパスジョイント交換

- 1) ウォーターバイパスジョイント 16355-50070 およびガスケット 16341-50020 を交換する

- 2) ウォーターインレットハウジングをつける
→ Oリングは新品を使用する(96761-35035)

- 3) コンプレッサー取付けの前に、(33)ウォーターバイパスホース No. 1 (250mm) をウォーターバイパスジョイント側(エンジン側)に取り付けておく(純正バンド再使用)

2, コンプレッサー取り付け

- 1) マニホールドガスケットを交換する(純正) 17171-50020 2個

- 2) ウォーターインレットハウジングのボルト1本をはずしておく(左図参照)

- 3) はずしたインテークマニホールド用ボルト6本およびナット4個を使用してコンプレッサーを取り付ける

⇒ **コンプレッサーを垂直に均等に入れること。締付けトルク 18N-m(185Kgf.cm)**

- 4) (75)ボルトと、(74)ワッシャー(73)ロックナットで(72)ノーズステーを取り付ける(左図参照)

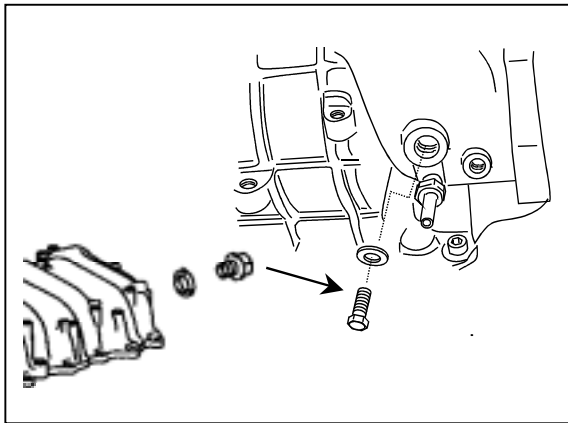
⇒ **ロックナット締付けトルク 8N.m(80Kgf.cm)**

⇒ **ハウジング締付けトルク 19N.m(195Kgf.cm)**

- 5) Vベルトを取り付ける

→ テンショナーを押し下げベルトを取付ける

⇒ **プーリセットボルトは左ねじのため右回転させるとプーリセットボルトがゆるむ**



6) 純正マニホールド後部のプースタープラグとガスケットをコンプレッサーに取り付ける

7) パルセーションダンパーとフエルホースを取り付ける

⇒ **ガスケットは新品を使用する**

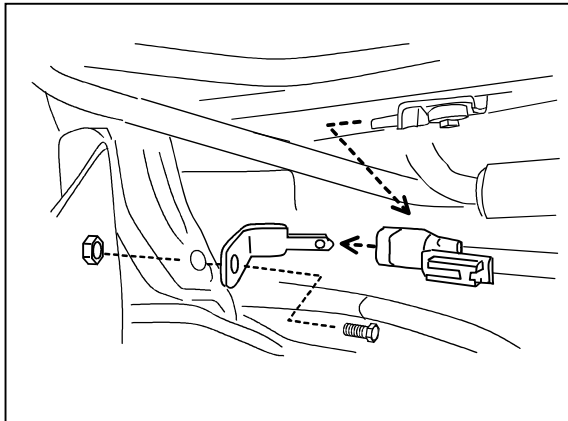
⇒ **締付けトルク 39N.m(400Kgf.cm)**

8) フエルリターンホースをプレッシャーレギュレーターに取り付ける

9) フエルパイプを(5A)フエルパイプブラケットA、(22)ボルト2個、(4)ワッシャー2個、(10)ロックナット1個でコンプレッサーに取り付ける

→ 構成部品図参照

⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**



[5] ラジエター、ウォーターポンプ、ホース取り付け

1, アウターテンプレチャーセンサー位置ずらし

1) アウターテンプレチャーセンサー（外気温センサー）をブラケットからはずす

2) (64)アウターセンサーテンプレチャーセンサーブラケットに取り付ける

3) (6)六角ボルト、(10)ロックナットで図の位置にセンサーを移動する

2, 取り付け

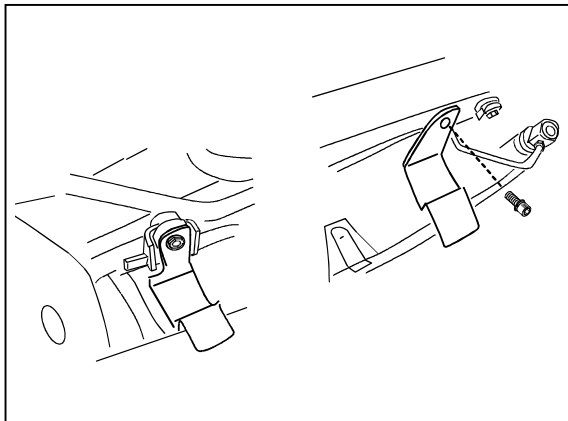
1) (16C) (16D)ラジエターロアステアを図の位置に取り付ける

→ フロント側はバンパーリーンホースに接地するようにする

→ R Hはクーラーコンデンサーブラケットに共締めする

→ L Hは(2 B)ボルトにて取り付け

⇒ **締付けトルク 16N.m(163Kgf.cm)**



3, ウォーターポンプ取り付け

1) (20)ウォーターポンプに(24)(25)ホースおよび(27)インレットホースバンドを取り付ける

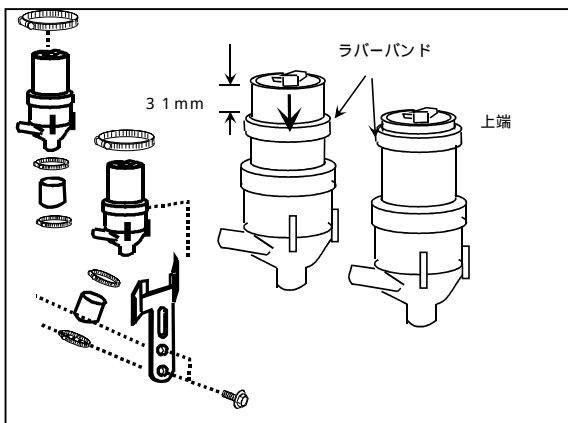
2) (21)ウォーターポンプステアを(22)ボルト2本でラジエターに取り付ける

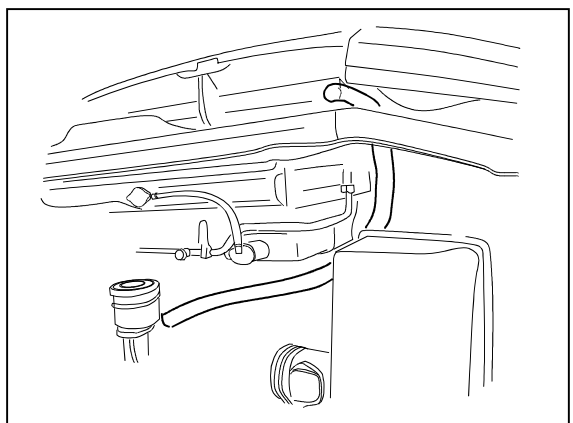
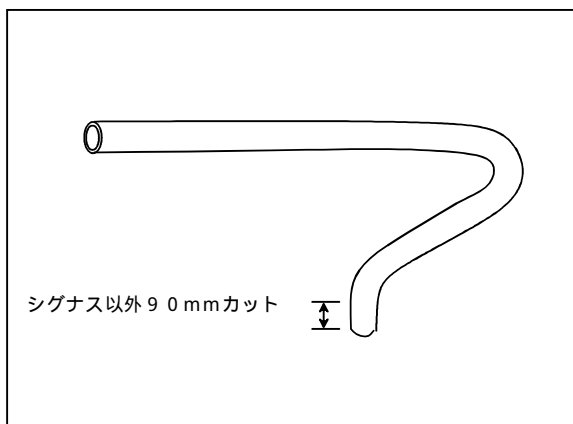
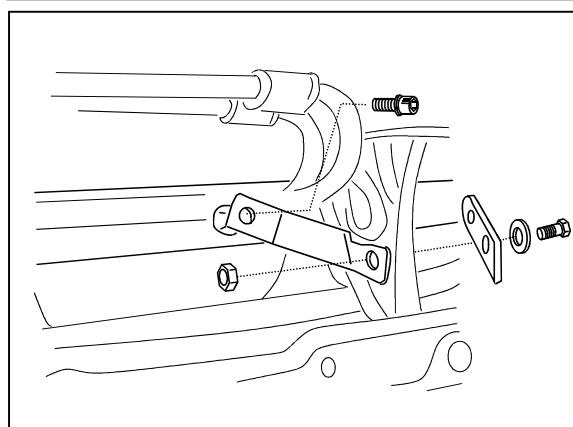
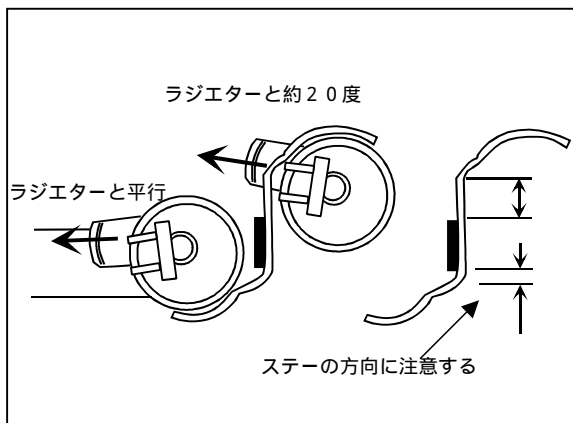
⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**

→ ステアの方向に注意する（左下図参照）

3) ウォーターポンプを(23)ウォーターポンプクランプバンドでステアに取り付ける

→ ウォーターポンプについているラバーバンドの位置をクランプバンドの位置にあわせる





→ ウォーターポンプアウトレットはラジエター側に図のような角度で取り付ける

4. ラジエター取り付け

- 1) (17)インタークーラーラジエターステーを(22)ボルトでラジエターに取り付ける

→ 取り付けボス2カ所のうち、中央のボスに取り付ける

⇒ 締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)

- 2) ラジエターをロアステアの上にのせ、(17)ステアを(6)六角ボルト(7)ワッシャー(10)ロックナットでボンネットロックサポートプレートに仮止めする

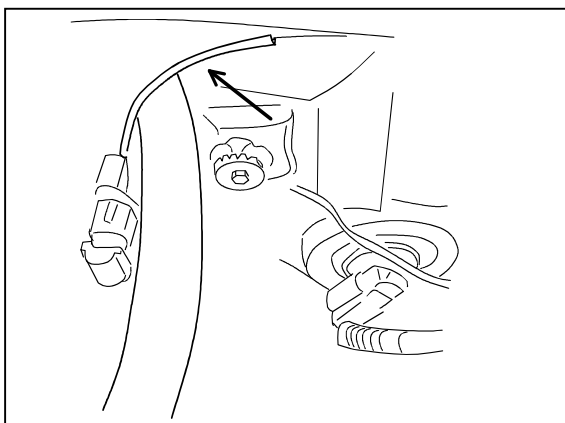
→ 該当の穴にカブラーがついている車両は、カブラーをはずし、その穴に(77)カブラーブラケットとともに(17)ステアを取り付ける(カブラーを(77)ブラケットに取り付ける)

5. インタークーラーホース取り付け

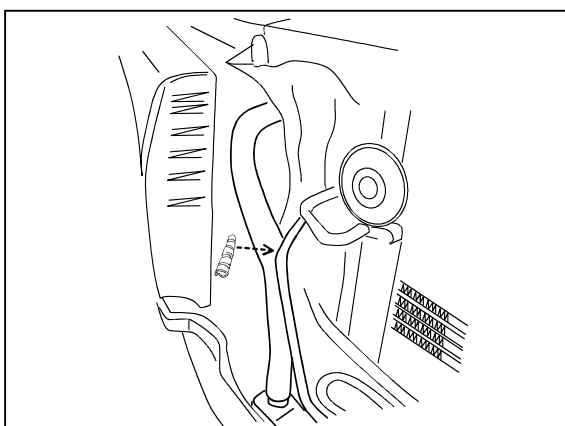
H17年4月以前のシグナス以外の車両

- 1) (18)インタークーラーアウトレットホースを左図のようにカットする

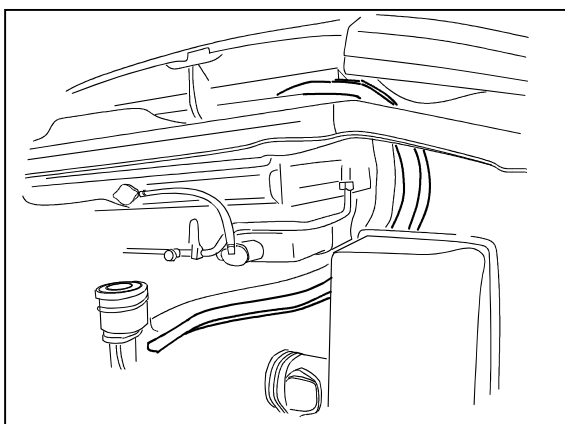
- 2) ラジエターサイドカバーRHをはずす
- 3) ヘッドライトRHの上側からサイドカバーがついていた位置を通し、アウトレットホースを配管する
- 4) (19)ホースバンドでホースをコンプレッサーのリザーブタンク下部に取り付ける
- 5) (19)ホースバンドでホースをラジエター側に取り付ける



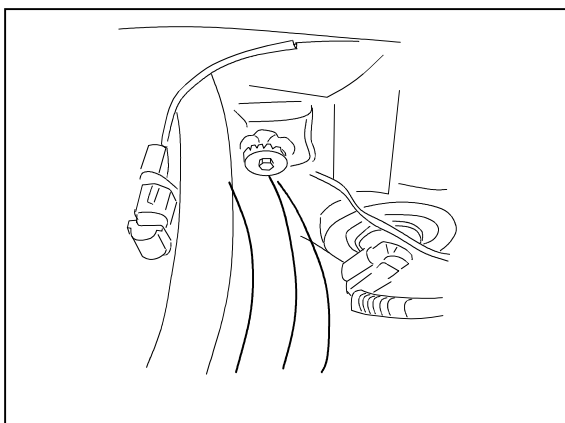
- 6) (41)プロテクターモールをヘッドライトR
H付近の図の位置に貼り付ける(ボディとホ
ースの干渉防止)
→ モールの内側に瞬間接着剤等を塗布して取り付
ける



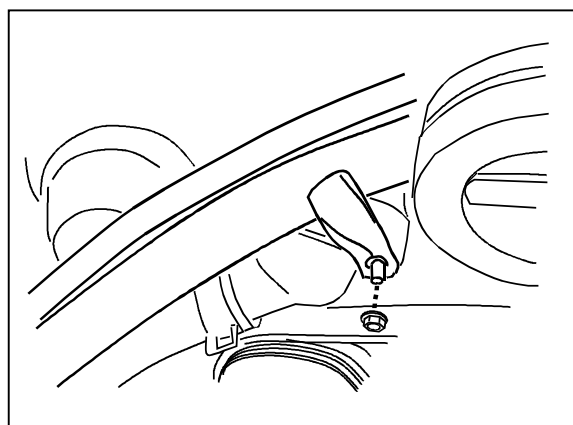
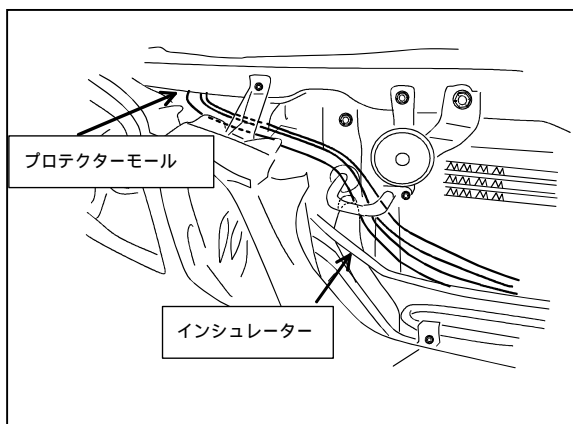
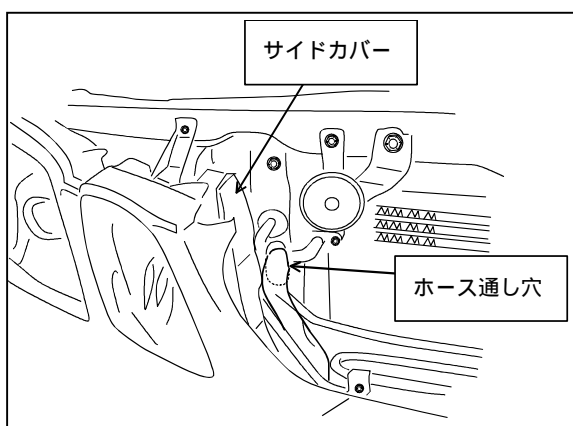
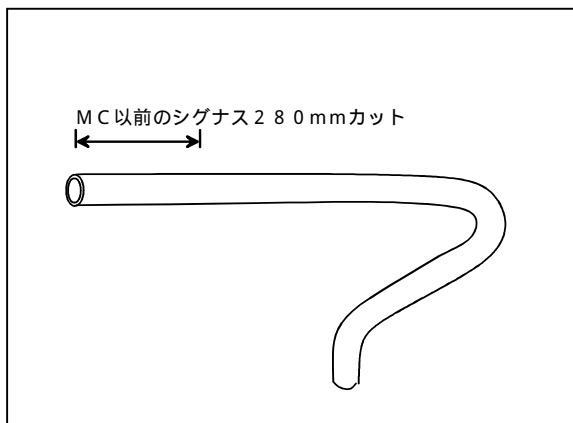
- 7) (11)インシュレーターをパワーステアリン
グクーラーと干渉する位置に巻く



- 8) (26)インタークーラーインレットホースを
1700mmにカットする
9) (26)インタークーラーインレットホースを
配管する
10) ホースバンドでホースをコンプレッサー
に取り付ける
11) (27)ホースバンドでホースをウォーターボ
ンプ2個に取り付ける
⇒ **ホースとボディの干渉する個所に(41)プロテ
クションモールがとりついていること**



- ホースの取り回しは左図を参照する



H17年4月以前のシグナスの場合

12) (18)インタークーラーアウトレットホースを左図のようにカットする

13) ラジエターサイドカバー-RHをはずす

14) 図の穴を通し、アウトレットホースを配管する

15) (19)ホースバンドでホースをコンプレッサーのリザーブタンク下部に取り付ける

16) (19)ホースバンドでホースをラジエター側に取り付ける

⇒ **ボディの穴をホースがとおる位置のホースに保護ラバーを巻く**

17) インタークーラーインレットホースを配管する

→ 配管位置は「シグナス以外」とほぼ同じ

18) (27)ホースバンドでホースをコンプレッサーに取り付ける

19) (27)ホースバンドでホースをウォーターポンプ2個に取り付ける

⇒ **ホースとボディの干渉する個所に(41)プロテクションモールを取り付ける**

20) パワーステアリングクーラーとホースの干渉する位置に(11)インシュレーターを取り付ける

21) (28)インタークーラーホースガイドをサーモスタットケースボルトに共締めする

⇒ **締め付けトルク 19N.m(195Kgf.cm)**

⇒ **ボディおよび部品と無理な接触がないこと**

⇒ **Vベルトとの干渉がないこと**

22) 前述4-2)のボルトナットを本締めする

⇒ **締め付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**

23) (29)ラジエターアッパーホースを取り付ける(バンドは再使用する)

[6] スロットルバルブ取り付け

1, スロットルバルブ A S S Y 取り付け

- 1) 取り付け前にスロットルバルブ下側のウォーターバイパスパイプ 2 個所に 4 - 1) で取り付けた(33)バイパスホース No , 1 と、(34)バイパスホース No , 2 (3 2 0 mm) を取り付けておく

→ スロットルバルブ取り付け後は作業性が悪い

- 2) はずしたボルト 2 本、ナット 1 個と、(12)ボルトでスロットルバルブをコンプレッサーに取り付ける

⇒ **締付けトルク 18N·m(185Kgf·cm)**

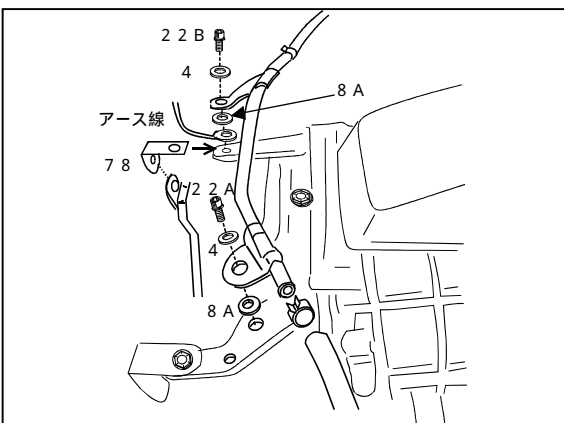
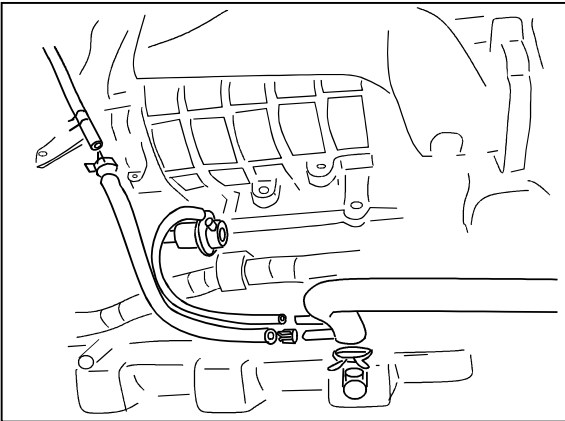
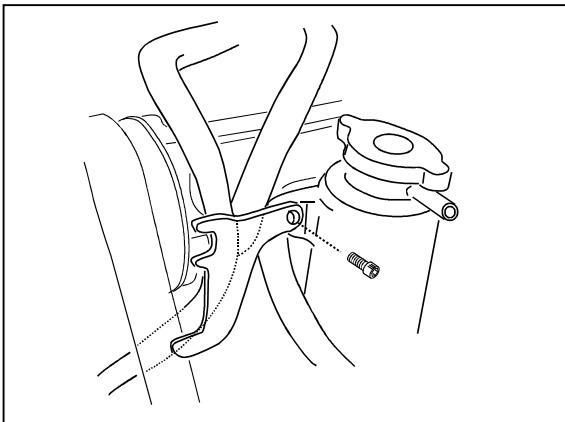
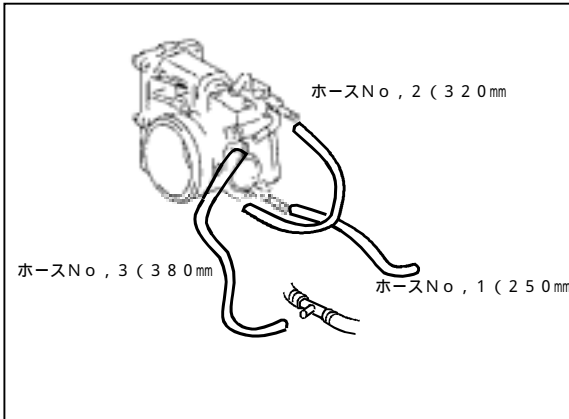
→ ガasketは新品を使用する 22271-50042

- 3) (33)(34)(35)ウォーターバイパスホースを取り付ける (バンドは純正を再使用)

- 4) コンプレッサー本体のウォーターリザーブタンクのフロント側ボルトをはずし、(36)ウォーターバイパスガイドを共締めする

⇒ **締付けトルク 10N·m(106Kgf·cm)**

⇒ **Vベルトとの干渉がないこと**



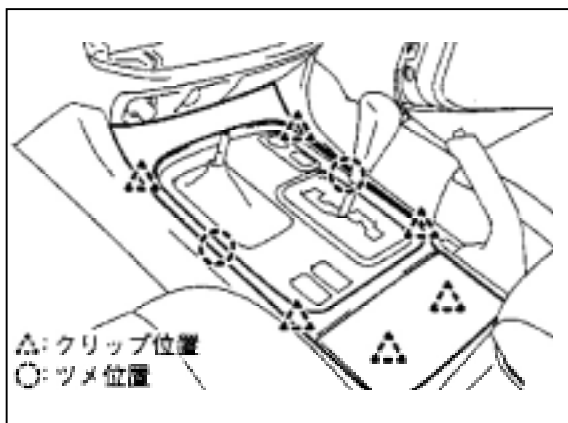
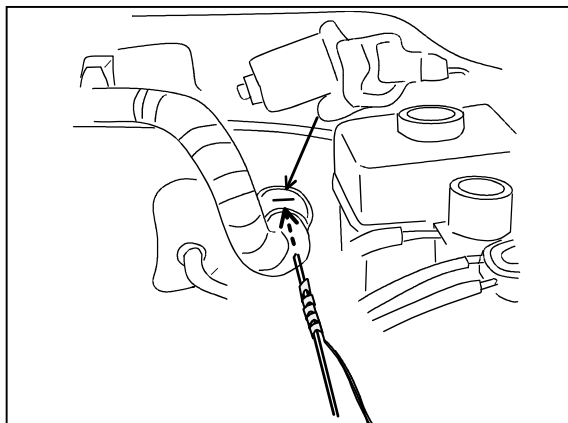
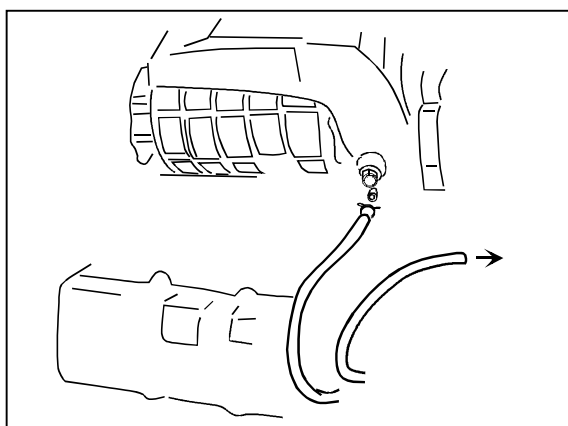
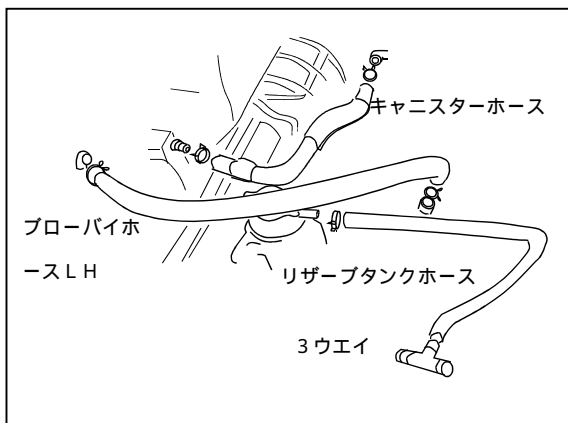
[7] ホース取り付け

1, ブローバイホース RH 取り付け

- 1) 純正バンドを再使用して、(37)ブローバイホース RH をエンジンに取り付ける
- 2) (65)パキュームホースをブローバイホース RH とフエルトレッシュャーレギュレーターに取り付ける
- 3) (33)ホースをブローバイホース RH に(43)バンドで取り付ける

2, キャニスターパイプ・ホース RH 取付け

- 1) 純正キャニスターパイプ・ホースをコンプレッサー後部に取り付ける
 - (22A)ボルト× 1、(22B)ボルト× 1、(4)ワッシャー× 2、(8A)スペーサー× 2 で取り付ける
 - アース線と(78)フエルトレッシュャーレギュレーター B を共締めする
- 2) (78)ブラケットにフエルトレッシュャーレギュレーターを取り付ける (純正ボルトナットを再使用する)
- 3) (33)ホースをパイプに取り付ける
 - 純正バンドを再使用する



3, ブローパイホース LH 取り付け

- 1) 純正バンドを再使用して、(38)ブローパイホース LH をスロットルボディおよびヘッドカバー LH に取り付ける

4, キャニスターホース LH 取り付け

- 1) 純正キャニスターホース LH を純正バンドでコンプレッサーのユニオンおよびキャニスターバルブに取り付ける

⇒ **パイプ抜け止めの 2 段目を超えるまでホースを差し込む。バンドは 2 段目より奥で止める**

5, リザーブタンクホース取り付け

- 1) (42)ホースを(43)バンドを使用して、ヘッドータンクに取り付ける
- 2) (42)ホースの反対側に(75)3 ウエイを取り付ける
- 3) 純正リザーブタンクのホースを中間付近でカットし、(75)3 ウエイをつなぐ

6, パワーステアリングアイドルアップホース取り付け

- 1) マニホ - ルド側についていたホースをカットしてコンプレッサーのユニオンに取り付ける (バンドは純正を再使用)

7, エアインレットホース取り付け

- 1) 純正バンドを再使用してエアインレットホースを取り付ける
- 2) 純正バンドを再使用してブローパイホース RH を差し込む
- 3) P S アイドルアップホースのレゾネーター側についていたホースを取り付ける (バンドは純正を再使用)

[8] ハーネス取り付け

1, ハーネス室内取り回し

- 1) エンジンワイヤーの室内への防水ゴム部分の上部に切り込みを入れる
→ ニッパーとカッターを使用して必要最小限にカットする

⇒ **ハーネスを切断しないように十分注意する**

- 2) (58)ハーネスの端子のみの側を、1 m 程度のピアノ線にテープで固定する

- 3) エンジンルーム側からピアノ線を通し、ワイヤーハーネスを室内に通す

- 4) コンソールパネル U P R をはずす
→ クリップ 6 箇所およびツメ 2 箇所をはずす

2. ハーネス結線

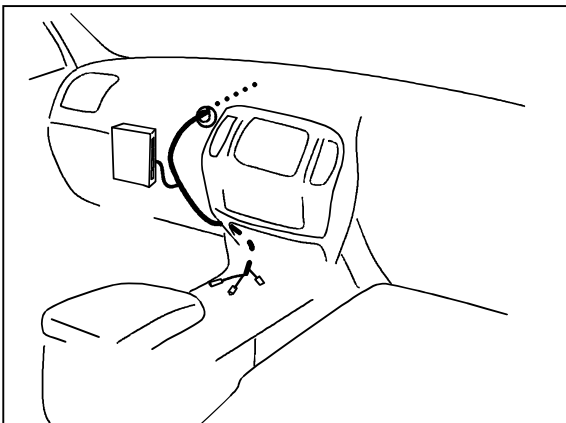
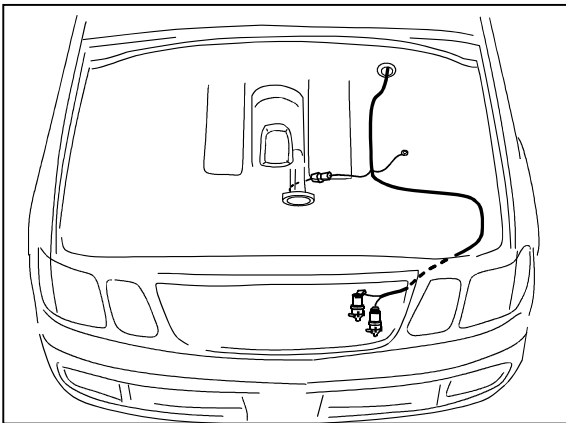
1) ハーネス各コネクタを左図のように取り回す

2) マグネットクラッチのコネクタにハーネスのコネクタを差し込む

3) ウォーターポンプのコネクタ 2 個にハーネスのコネクタを差し込む

⇒ コネクタをシール剤などで防水処理する

4) アース端子をボディに取り付ける



5) ECUコネクタの図の位置にターミナル（緑色青）を結線する

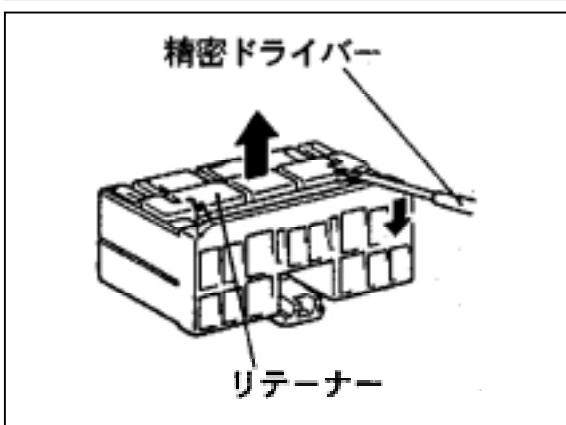
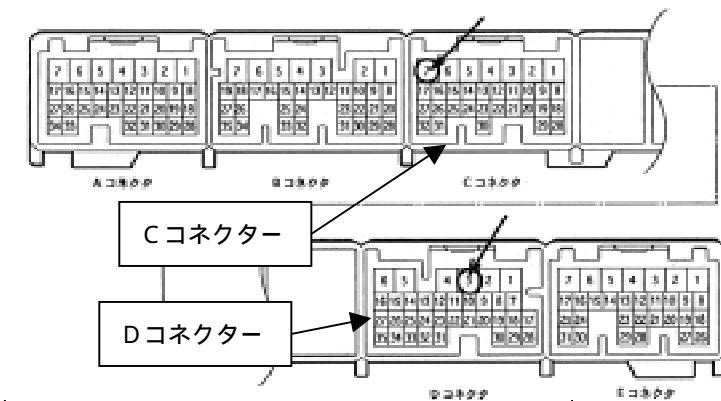
⇒ H17年(2005)4月以前の車両は「Dコネクタの#3」

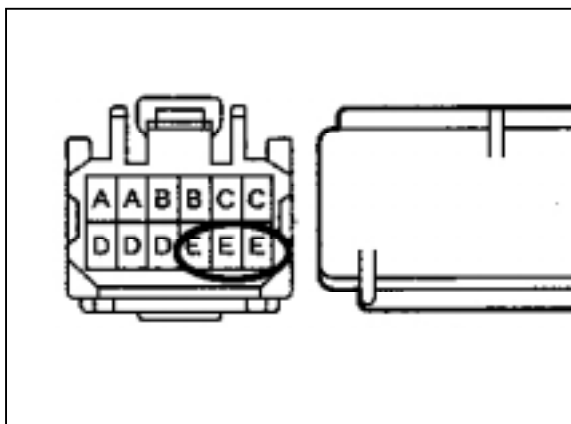
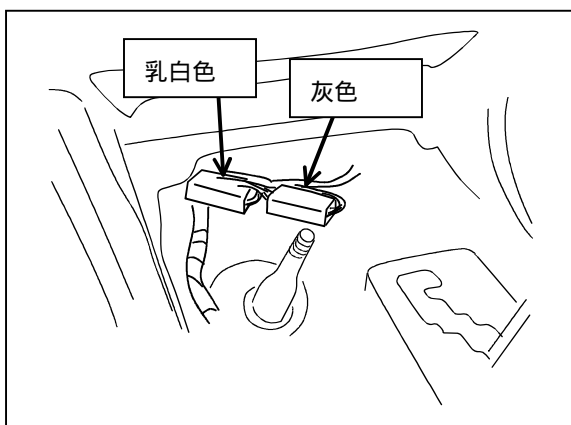
⇒ H17年(2005)4月以降の車両は「Cコネクタの#7」

→ コネクタの2重係止めを解除し、ターミナルを後ろから差し込む

⇒ 図はコネクタ側から見たものため、ハーネス側から見た場合は逆となる

⇒ Cコネクタは左右対称のため、位置に注意すること（下側の切りかきを参考にする）





6) コンソール部の図のコネクター 2 つを手前に引き出す

7) テープをはがし、ジャンクションコネクターからコネクターをはずす

→ コネクターの 2 重係止めを解除する

→ コネクター図の [E] を使用する

→ 乳白色コネクターの [E] のうちの空きの個所に赤線と青線を結線する

⇒ 相手線色が [青白] であること

⇒ I G スイッチ ON で 12 V がくることを確認する

→ 灰色コネクターの [E] のうちの空きの個所に黒線を結線する

⇒ 相手線色が [白黒] であること

⇒ ボディアースと導通があることを確認する

8) エンジンワイヤーのカットした防水ゴム部をシール等で防水処理をする

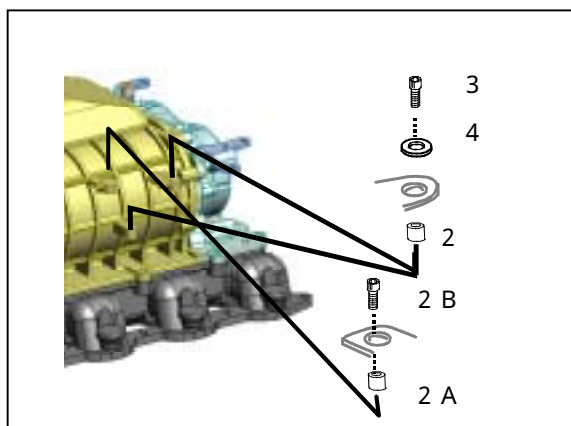
3, 純正ハーネス復元

1) インジェクターハーネスその他はずしたハーネスを取り付ける

2) エンジンワイヤーハーネスブラケット 3 箇所をコンプレッサーのステーに取り付ける

→ 構成部品図を参照して付属のボルト、ワッシャー、カラーで取り付ける

⇒ 締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)

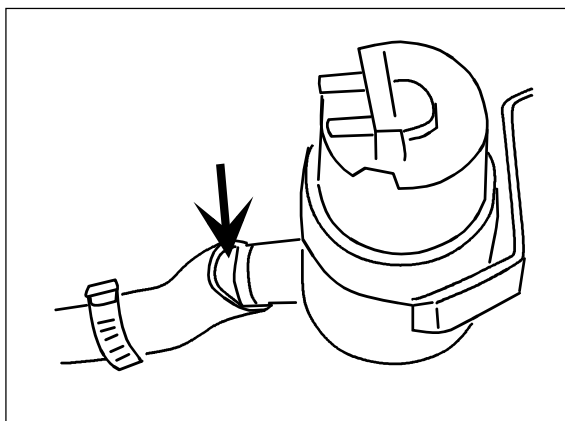


[9] エンジン ECU 取り付け

- 1) T E C を取り付ける

[10] インタークーラーウォーター注入

- 1) ヘッダータンクから冷却水 (L L C 5 0 %) を入れる
- 2) ウォーターポンプ側のアウトレットホースの 上側を少しはずしてエアを抜きホースを戻す
⇒ 冷却水が出てきてエアがない状態まで冷却水を流す
⇒ ポンプ 2 個ともエア抜きする (片側ずつエア抜きすること)



⇒ この位置にエアが残るとポンプの「カラ打ち」が発生し、ポンプが異音の発生やヒートしたり水が回らない場合があるため十分エアを抜く (カラ打ちをするとポンプがショートして、ヒューズが切れる)

- 3) イグニッションを ON にして、ウォーターポンプが回転していることを確認する

⇒ 音および感触で確認する

- 4) ウォーターポンプのコネクターを片側ずつ取り付け、それぞれでエア抜きをする

⇒ ヘッダータンクの泡が完全になくなるまで片側ずつ十分エア抜きをする

⇒ タンクの冷却水が動いていることを確認する

- 5) ヘッダータンクいっぱいまで補充する

⇒ キャップテスターを使用して冷却水の漏れを点検する (満水にした状態で 137kPa (1 . 4 K g / c m 2) の圧力をかける)

[11] 冷却水注入

- 1) エンジン冷却水を入れ、エア抜きをする

[12] 燃料コーションラベル・ベルトラベル貼り付け

- 1) 燃料コーションラベルをフューエルフィルターオープニングリッド (給油口リッド裏面) に貼り付ける
- 2) ベルトラベルを純正ベルトラベルの上に貼り付ける

[13] 各部確認

- 1) エンジンを始動して、アイドルリングし、ベルトの干渉などがいないか確認する

⇒ 特にエンジン始動時や、レーシング時にベルトの干渉がないか確認する

- 2) アイドルリングが安定しない場合は、エンジン E C U の学習値が安定するまで、アイドル放置および走行する

- 3) 走行後ガソリン、冷却水の漏れ等を点検する



【発売元】株式会社 トムス
東京都世田谷区等々力6 - 13 - 10
TEL 03 - 3704 - 6191

Ver, 3.0 2005/12/16 発行